

神奈川県精神医学会

第167回例会

2016年2月27日（土）

13時30分—

会場：AP横浜駅西口



学会事務局：横浜市立大学医学部精神医学教室内
〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9



会場：AP横浜駅西口

横浜市西区北幸2-6-1 横浜APビル4階
 (※ビル1階はスターバックスコーヒーです)
 TEL 045-411-5109 (代表)

★交通アクセス★

JR東海道線・JR京浜東北線・JR横須賀・総武線「横浜」駅西口徒歩6分
 横浜市営地下鉄「横浜」駅徒歩約3分・東急東横線・みなとみらい線「横浜」駅徒歩約6分、
 相模鉄道線「横浜」駅徒歩約5分、京浜急行線「横浜」駅徒歩約6分

学会員の方は参加費無料です。受付けをお済ませの上、ご参加ください。
 非会員の方は、学会参加費(1000円)を受付けの際にお支払ください。

本学会は日本精神神経学会における精神科専門医資格認定更新にかかる研修のC群(取得単位1単位)として認定しております。

ポイントの取得をご希望の方は「精神科専門医会員カード」をご持参・ご提示ください。

本学会は日本医師会生涯教育講座認定学会です。

ご希望の方には受付にて、参加証をお渡し致しますのでお申し出下さい。

演題発表用の資料は、Microsoft PowerPointで作成したファイルのみ、お受けいたします。

電子ファイルは一般演題1 演者の方は13:00、一般演題2 演者の方は14:30に受付へお持ちください。

演題発表時にCOI(conflict of interest)に関して、開示をお願い致します。

当日の発表用スライドには、下記URLの基準(日本精神神経学会のHP)をご参照の上、明示をお願い致します。

【 https://www.jspn.or.jp/modules/about/index.php?content_id=22 】

併せて当日までに神奈川県精神医学会誌掲載用の抄録(800字以内)を電子ファイルでご提出ください。
 一般演題はプレゼンテーション 8分、質疑 2分です(時間厳守)。

学会に関するお問い合わせは、

会場ではなく、神奈川県精神医学会事務局までお願いします。

事務局：横浜市立大学医学部精神医学教室

電話：045-787-2667 FAX：045-783-2540

担当：浅見・安房



神奈川県精神医学会例会

一般演題1(13時30分-)

座長：青山 久美（横浜市大附属病院 児童精神科）

1. 亜昏迷状態に対し抗精神病薬が著効した精神病性うつ病の一例

村田 和浩, 寺山 慧, 吉田 晴久, 萩木 丈博, 加藤 秀一, 福生 泰久, 森脇 久視, 和田 直樹, 岩井 一正

神奈川県立精神医療センター

2. カタトニア症状を呈しベンゾジアゼピン系薬剤が奏功した3例

北嶋 宏輝¹⁾, 濱口 大輔¹⁾, 林 美穂¹⁾, 早坂 俊亮¹⁾, 六本木 知秀¹⁾, 高橋 雄一¹⁾, 平安 良雄²⁾

1) 横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター

2) 横浜市立大学医学部精神医学教室

3. クロニジンを使用したアルコール依存症の一例

山本 恭平, 辻村 理司, 黒澤 文貴, 小林 桜児, 川副 泰成, 岩井 正一

神奈川県立精神医療センター

4. 当センター入院患者における抗精神病薬処方の実態について

林 美穂¹⁾, 早坂 俊亮¹⁾, 六本木 知秀¹⁾, 高橋 雄一¹⁾, 平安 良雄²⁾

1) 横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター

2) 横浜市立大学医学部精神医学教室

5. 相模原市における薬物再乱用防止プログラム(FLOW)の取り組みについて

柳川 岳也¹⁾, 朝倉 崇文¹⁾, 新井 紘太郎¹⁾, 西村 誠²⁾, 斎藤 杉子¹⁾, 落合 万智子¹⁾, 宮倉久里江¹⁾, 田中 秀泰³⁾

1) 相模原市精神保健福祉センター

2) 相模原市中央こども家庭相談課

3) 一般社団法人 相模原ダルク

6. 精神保健福祉センターにおけるセカンドオピニオン外来事業の報告(第二報)

新井 紘太郎, 朝倉 崇文, 柳川 岳也, 奥 亜希子, 賴本 鏡子, 落合 万智子, 宮倉 久里江
相模原市精神保健福祉センター

一般演題2(15時00分-)

座長：高橋 雄一（横浜市大附属市民総合医療センター 精神医療センター）

7. カタトニアを繰りしていたSubclinical Cuhing病の1例

山口 博行¹⁾, 千葉 悠平¹⁾, 玉澤 彰英¹⁾, 佐藤 由佳¹⁾, 三木 和美¹⁾, 國下 梨枝子²⁾, 小座野 いづみ³⁾, 勝瀬 大海¹⁾, 平安 良雄¹⁾

1) 横浜市立大学精神医学教室

2) 横浜市立大学内分泌・糖尿病内科学教室

3) 横浜市立大学脳神経外科学教室

8. 脳出血合併により緊張病症候群治療におけるECTの実施が困難であった症例

大内 宏美¹⁾, 黒沢 顕三²⁾, 菊池 優¹⁾, 中村 暖¹⁾, 堀内 健太郎¹⁾, 湯田 初¹⁾, 岩波 明²⁾, 稲本 淳子¹⁾

1) 昭和大学横浜市北部病院

2) 昭和大学精神医学講座

9. NPSLEに伴う治療抵抗性の幻覚妄想状態に対し修正型電気痙攣療法が有効であった一例

宮崎 秀仁¹⁾, 須田 顕¹⁾, 吉見 明香¹⁾, 新井 めぐみ¹⁾, 野口 功一¹⁾, 吉見 竜介²⁾, 勝瀬 大海¹⁾, 平安 良雄¹⁾

1) 横浜市立大学附属病院精神科

2) 横浜市立大学大学院幹細胞免疫制御内科学

10. 検察官通報と医療観察法

矢作 和彦, 渡邊 朋也, 川本 紘理, 杉山 徹, 桑原 寛, 山田 正夫

神奈川県精神保健福祉センター

11. 高齢精神障害者の保健医療福祉の動向と課題

桑原 寛

神奈川県精神保健福祉センター